

広報 みなみふらの

2

祝 南富良野町二十歳を祝う会

2026.FEBRUARY No.839



南富良野から未来へー二十歳の門出
「二十歳を祝う会」

(1月11日)

令和8年 南富良野消防出初式を開催

1月4日、保健福祉センター「みなくる」にて、新年恒例の消防出初式が厳粛に行われました。制服姿の消防団員と消防署員あわせて64名が勢ぞろいし、高橋町長、富良野広域連合消防本部の西出消防長、佐藤消防団長による点呼・観閲を受けました。式典は「みなくるホール」で執り行われ、町長から昨年の火災予防や消防活動への感謝状、永年勤続団員への表彰が授与されました。高橋町長は式辞で、「町民の安心・安全のため献身的にご活躍いただき、消防人としての誇りと職務の重要性を認識し、地域住民の信頼に応えていただくことを期待します」と述べました。続いて消防長の訓示、来賓の祝辞があり、佐藤消防団長は、「南富良野消防団の伝統と実績を引き継ぎ、団員一丸となり地域の安全と郷土の繁栄に努めたい」と決意を語りました。最後に、参列者全員で今年一年の無火災・無事故を願い、式典は閉会しました。

地域の安全を誓う 南富良野消防出初式



■南富良野町長感謝状

南富良野消防団第1分団（幾寅）
南富良野消防団第2分団（落合）
南富良野消防団第3分団（下金山）
南富良野消防団第4分団（金山）

■富良野広域連合長感謝状

40年勤続 第1分団 分団長 伊賀 伸彦
20年勤続 第2分団 班長 福田 博之
10年勤続 第1分団 団員 早坂 友宏
10年勤続 第2分団 団員 石田 晃造
10年勤続 第2分団 団員 番屋 総士
10年勤続 第4分団 団員 村井 光洋

■富良野広域連合消防長表彰

NPO法人どころ野外学校 代表 目黒 義重
富良野消防署南富良野支署 消防士長 鳥羽 壘

■北海道消防協会長表彰

特別功績章 第1分団 分団長 伊賀 伸彦
20年勤続 第2分団 班長 福田 博之
10年勤続 第1分団 団員 早坂 友宏

■南富良野消防団長表彰

10年勤続 第2分団 団員 石田 晃造
10年勤続 第2分団 団員 番屋 総士
10年勤続 第4分団 団員 村井 光洋
10年勤続 南富良野支署 消防士長 安部 憲祐
10年勤続 南富良野支署 消防士長 北村 亜衣

令和7年中の各表彰受賞者

◆北海道知事定例表彰（10月21日受賞）
永年勤労章 第3分団 副分団長 武田 伸一

◆日本消防協会長表彰（3月7日受賞）
30年勤続 第3分団 副分団長 武田 伸一

◆上川地方支部定例表彰（4月24日受賞）
功労章 第3分団 副分団長 武田 伸一

令和8年 二十歳を祝う会

二十歳の門出を祝う、笑顔と希望の集い



誓いのことば
山名 凛香さん・山西 瞳翔さん



交通安全宣言
新岡 華美さん・川邊 朗さん



謝 辞
森 夢香さん

1月11日、「二十歳を祝う会」が保健福祉センターみなくるで開催され、これからの時代を担う二十歳の19名が家族や来賓に見守られながら、晴れやかな姿で節目を迎えました。

式では、新しいスーツや晴れ着に身を包んだ参加者がステージに登壇し、一人ひとりが二十歳としての抱負を力強く述べました。鈴木教育長は「これからは苦労や努力が必要になるかもしれないが、自分の力を信じ、挑戦し続けてほしい」と式辞を述べ、来賓を代表して高橋町長、町議会酒井議長から激励の言葉が贈られました。

二十歳を迎えた代表の山西瞳翔さんと山名凛香さんは「郷土である南富良野町の発展のため、若い力を結集し、共に力を尽くします」と誓いのことばを述べ、続いて川邊朗さんと新田華美さんが「飲酒運転、無免許運転は絶対にしません」と交通安全宣言を行いました。また、謝辞では森夢香さんが「皆様よりいただいた意義深い教訓を胸に刻み、大人社会の一員として自ら考え行動し、未来を築いていく覚悟を持つて進んでいきます」と述べ、新成人たちは次代を担う決意を新たにしました。

式典後には、当時小学6年生だった皆さんが平成30年2月に設置した、金山ダム完成50周年記念のタイムカプセルが開封されました。中からは、当時の思い出の品や自分宛ての手紙が取り出され、懐かしさに笑顔がこぼれる場面も見られました。また、同じく保管されていた泡盛が一人ひとりに配布され、成人の門出を祝う温かなひとときとなりました。



タイムカプセルの手紙を
楽しむ参加者の皆さん



タイムカプセル開封のひと時

北海道社会貢献賞（自治功労者）受賞

大道 重治さん（北落合）

永年にわたり町議会議員として地方自治・産業・医療・農業の各分野で地域の発展に貢献された大道重治さん（北落合）が、北海道社会貢献賞を受賞され、12月24日に高橋町長から伝達されました。

大道さんは、平成15年5月に町議会議員に初当選以来、総務常任委員会委員長や産業建設常任委員会副委員長を歴任し、過疎化や少子高齢化対策、健全財政の維持に取り組み、簡素で効率的な行政体制の推進に尽力されました。また、平成11年から令和2年まで21年間、農業委員会委員として農業生産力の増強や合理化を推進し、若者の流出による農家人口減少に対応し、新規就農や農業所得の安定化にも力を注ぎました。さらに、平成27年から令和5年まで医療対策協議会委員を務め、地域医療体制の維持と医師確保に尽力したほか、富良野広域中内草地組合議会議員として公営牧場の管理経営

体制の確立と安定化にも貢献しました。

受賞に際し大道さんは、「20年間の議員時代は長かったが、皆さんのおかげで続けてこられたことに感謝しています」と述べられました。



高校生が南富良野の歴史を学ぶ 特別授業を実施

町外から通う生徒が増える中、地域に対する理解を深めることを目的として、南富良野高等学校で特別授業が行われました。今回は、長年にわたり町の教育行政に携わってきた元教育委員会職員の山名賢一さんを講師として招き、町の歴史や地域が歩んできた課題について学びました。

授業では、金山ダム建設までの歩みや、水没によって移転を余儀なくされた鹿越地区の歴史について詳しい解説が行われ、生徒たちは知られざる町の過去に真剣に耳を傾けていました。ダム建設が地域にもたらした影響や、人々の暮らしの変化といった具体的なエピソードには、生徒から「知らなかった」、「もっと調べてみたい」といった声も聞かれました。

また、授業の後半では、千里大学の皆さんが制作した紙芝居『なつかしの鉄路』を、生徒たちが朗読形式で披露。かつて町を走っていた根室本線の記憶をたどる内容で、鉄路が地域の生活や文化に与えてきた役割を、生徒自身の声で表現する機会となりました。



今回の授業を通じて、生徒たちは「南富良野町をもっと知りたい」という思いを強めた様子でした。学校では今後も地域と連携し、南富良野の歴史や魅力に触れる学習を継続していく予定です。

町出身カーリング選手 山口剛史さん

町長表敬訪問

町出身で世界を舞台に活躍するカーリング選手の山口剛史さん、NPO法人どころ野外学校 目黒義重理事長、五嶋富恭さんが1月6日、町長を表敬訪問しました。山口さんは長野県のSC軽井沢クラブに所属し「世界の實力に追いついてきている実感がある」と語りました。年明けに帰郷した山口さんは、地元のカーリング場で子どもたちと交流し「小さい子どもたちもカーリングに触れてくれて嬉しい」と笑顔を見せました。町長は「町としても、町の特色であるカーリング、カヌー、スキーなどの発展にできる限りの協力をしたい」と話し、地域スポーツの振興に意欲を示しました。

山口さんは、世界選手権や国際大会での経験を通じて「日本チームのレベルは確実に上がっている」と強調し、「世界のトップチームと互角に戦えるよう、さらに努力を重ねたい」と抱負を語りました。

また、「子どもたちがカーリングに興味を持ち、将来選手を目指してくれることを期待している」と話し、地域スポーツの未来に期待を寄せました。

山口さんの益々の活躍を心より応援しています。今後も地域の誇りとして、多くの人に勇気と感動を届けてくれることでしょう。



左から鈴木教育長、目黒義重さん、岩淵副町長、高橋町長、山口剛史さん、五嶋富恭さん

【地域貢献活動】 感謝状を贈呈

町では、地域のために活動を行っていただいた4社に対し、感謝状を贈呈しました。

株式会社只石組からは、インフルエンザなどの感染症予防に役立ててほしいと、町内の各学校施設へ加湿器をご寄附いただきました。株式会社アラタ工業には、地域の安全確保のため、道路などに支障となる木の除去作業を行っていただきました。丸彦渡辺建設株式会社には、第54回かなやま湖湖水まつりにおいて、会場の衛生設備の設置にご協力いただき、来場者が快適に楽しめる会場環境づくりを支えていただきました。岩田地崎建設株式会社には、湖畔野球場周辺の環境整備を行っていただき、施設維持の整備充実に寄与していただきました。地域を支えてくださる企業の皆さまのご尽力に、深く感謝申し上げます。



丸彦渡辺建設株式会社



株式会社只石組



岩田地崎建設株式会社



株式会社アラタ工業

冬の風物詩 ワカサギ釣り

ふ化直前まで育成をしたワカサギの卵は初夏、栄養豊富なかなやま湖へ放流されます。

かなやま湖は水温が比較的安定しており、ワカサギのエサとなる良質なプランクトンが豊富という、ワカサギの卵がふ化した時から成長に最適な環境が整っています。

湖でのびのびと育つワカサギは、やがて湖の生態系を支える大切な一員となります。



厳しい季節を越える命



▲ワカサギ釣りにワクワクが止まらない



成長の季節 かなやま湖へ放流



▲ふ化直前まで育成した卵を放流する様子

冬のかなやま湖は雪と氷に覆われますが、ワカサギはその下でゆっくりと冬を越します。

水温が安定しているかなやま湖では、ワカサギが無理なく冬を過ごすことができ、翌年の繁殖へと命をつないでいきます。

一酸化炭素中毒事故やマナーに気を付けて、ワカサギ釣りをお楽しみください。一酸化炭素濃度を測定する機器の活用が有効です。

なお、釣り場は管理者のいない釣り場です。ワカサギ釣りは、自己責任の上、行ってください。



いのちのはじまり 卵育成作業



▲ワカサギのふ化装置の様子

秋を迎える頃には、ワカサギはしっかりと成長し、湖の生態系のなかで大切な役割を果たし始めます。

特に「幻の魚」として知られるイトウにとって、ワカサギは貴重なエサとなり、生存を支える重要な存在です。

湖全体のバランスを守り、生命の循環をつなぐ季節です。

かなやま湖の ワカサ

春、ワカサギの卵は専用のふ化装置に入れられ、きれいな空知川の水と必要な薬品を用いて、細胞分裂の進行を静かに見守ります。

この段階の育成管理はとても重要で、良好な水質で育成した卵は丈夫に育ち、安定した個体数の供給につながります。地域の湖の生態系を支えるための第一歩が、このふ化直前までの卵育成作業となります。

今年度は、屈斜路湖産のワカサギの卵、3kg 約4,000万粒を育成しました。



湖の恵みを受けて



▲かなやま湖に生息する幻の魚「イトウ」

町議会定例会

行政報告・教育行政報告

令和7年12月17日に開催されました第4回定例会において、高橋町長が5件の行政報告と鈴木教育長が3件の教育行政報告を行いましたので、内容についてお伝えします。

行政報告



企画課関連

■令和7年度上期ふるさと納税の納付状況について

本年度9月末現在のふるさと納税は、昨年同期と比較し件数では234件

増の2,592件、納税額では949万円増の4,633万6千円となりました。増加の要因としては、本年10月からふるさと納税制度が改正され、仲介するポータルサイトを通じて寄付を行った際のポイント付与が全面禁止となったことから、9月までに駆け込みでの寄付が増加したことによるものと思われます。

今後も新規納税者の獲得に向け各種イベント等でのPR活動をはじめ、体験型返礼品の開発や新たな町内農産物の返礼品化を図り、寄付額の更なる増額に向けた取り組みを進めてまいります。

組みを進めてまいります。

■令和7年度上期観光客の入込状況について

本年度9月末現在の町全体の観光客人込数は、昨年同期と比較し1万3千人増の33万5千人となりました。

昨年10月より改修工事を行っておりました物産センターが4月26日にリニューアルオープンし、9月末までの入館者数は22万7千人で昨年同期と比較し3万9千人増加となり過去最高の入込となりました。



リニューアルオープンした物産センター

りました。

一方で、週末の天候不順などの影響もあり道の駅アドベンチャーパークで8千人減の1万6千人、湖畔キャンプ場及びオートキャンプ場で5千人減の1万5千人となり、その他幾寅駅では8千人減の2万6千人、ラフティングなどのアクティビティを目的に来る観光客も修学旅行客の減などにより5千人減の1万7千人となりました。

今後、閑散期を迎える冬季間の観光客確保に向けSNSなどで情報発信を図り、多くの観光客に足を運んでいただけるよう取り組んでまいります。

産業課関連

■鳥獣害対策について

本年度の鳥獣害対策については、農作物被害の防止軽減を図る「鳥獣被害防止計画」及びヒグマから住民生活の安全を守る

る「ヒグマ対策基本方針」に基づき、富良野警察署、猟友会南富良野部会をはじめ関係機関と連携を図り進めてまいりました。

町内におけるクマの目撃通報は11月末現在70件で昨年同月比34件増となっております。住民の生活圏への侵入を防ぐためヒグマの目撃情報やヒグマの出没形跡のあった場所に緩衝帯を整備したほか、一昨年目撃情報が多発したかなやま湖キャンプ場及びログホテルラーチ周辺には電気牧柵や監視カメラを設置し、本年度はヒグマの出没や目撃情報はなく、一定の効果があつたと判断しております。

また、農作物被害防止軽減を図るため昨年度より農業者に費用の一部助成を開始し、本年度は電気牧柵5件と捕獲用わな1件の助成を行いました。11月末現在の有害鳥獣の

駆除頭数は、ヒグマ24頭、鹿619頭、うさぎ15羽、アライグマ70頭であります。

今後も引き続き、ヒグマを市街地に出没させない取組の徹底や各種計画に基づき関係機関と連携を図り鳥獣害対策を進めてまいります。

防災安全推進室関連

■町民参加の防災訓練について

昨年度で町内各地区での町民参加の防災訓練が一巡し、本年度は二巡目に入り、去る11月13日に落合地区の皆様を対象に、27名の参加をいただき落合地区多目的センターを会場に実施いたしました。

当日は、地区全域に避難指示が発令されたという想定のもと、各家庭から避難を開始し避難完了までの流れを確認しました。防災講話では、平成28年8月の災害後に行わ



落合地区防災訓練の様子

れた空知川の治水工事や水位計、監視カメラの整備状況について学びました。さらに、避難施設における非常用電源や資機材等の整備状況を確認し、その後段ボールベットの設営やカードゲームを用いた避難所運営の疑似体験を行い参加者の防災意識の高揚を図りました。

■金山駐在所の配置見直しについて

去る10月10日に、北海

道警察本部より金山駐在所の統廃合について説明がありましたのでご報告いたします。

説明によりますと、令和9年4月に金山駐在所を廃止し、幾寅駐在所に統合し、幾寅駐在所を2名体制にするという内容であります。

統廃合の背景には近年、サイバー犯罪の増加、SNSや投資を利用した特殊詐欺の急増など、複雑で深刻な事案が相次ぎ従来のパトロール中心の活動だけでは十分に対応できない状況となつてきていることでもあります。また、道内には全国最多の392箇所の駐在所があります。少子化による

志願者の減少や民間への人材流出などにより警察官不足が深刻化し、複数の駐在所を兼務する勤務員が増え警察官不在施設の発生や、全国的に交番襲撃事件が増加し、道内

でも警察官が刃物で襲われる事案が発生するなど、単独勤務の危険性が高まっており複数勤務体制の必要性が強く認識されております。

こうした状況を踏まえ駐在所の再編を進めることで、限られた人員を有効活用し複雑化する犯罪に迅速に対応するとともに、警察官の複数体制による安全を確保する方針であります。

再編の判断基準としては、駐在所施設の経過年数や地域の人口動態、事

件事故件数、施設間の距離や面積、業務量や負担度などを総合的に勘案し、現在、全道で約30箇所の再編が進められております。

駐在所廃止後も、金山、下金山地区の担当警察官は引き続き配置され、パトロールや通報体制、地域行事への参加などは継続されます。また、地域の治安体制を維持するため地域協議会も存続し、山部・東山駐在所との連携体制を強化していくことでもあります。

町といたしましては、住民が安心して暮らせる環境を第一に考え、地域の皆さんへの丁寧な説明を強く要請し、北海道警察本部による住民説明会が11月12日に下金山地区、13日に金山地区で開催されました。今後、両地区自治会などの関係団体と連携し、犯罪抑止を図る対応を進めてまいります。



金山駐在所

教育行政報告



■小中学校の活動状況等について

町内小中学校においては、11月以降、インフルエンザに感染する児童生徒が増加し、状況に応じて学級閉鎖などを行っておりますが、インフルエンザの流行時期は例年1月以降であることなどから、引き続き各学校において適切な感染対策を行ってまいります。

2学期における学校行事等の主だったものとして、南富良野中学

校の学校祭が9月20日に、学芸会につきましては、南富良野小学校では10月18日に、南富良野西小学校では11月1日に、それぞれ予定どおり開催され、地域の皆様にも元気な児童・生徒の姿をご観覧いただくことができました。

10月14日には、南富良野中学校において、スポーツ庁のアスリート派遣事業として、バレエボールの元日本代表、サントリースアンバーズのコーチ、監督を歴任された山村宏太さんを講師に迎え、5・6



南富良野小学校 学芸会



南富良野西小学校 学芸会

時間目を活用し全校体育の授業を行った後、バレエボール部の部活動にも参加をいただきました。山村さんからは、運動の楽しさやバレエボールの技術だけでなく、運動に取り組む姿勢や物事の考え方、可能性など様々な視点からお話をお聞かせいただき、中学生にとってたいへん貴重な機会となりました。

■就学時健康診断の実施について

去る10月7日に令和8



アスリート派遣事業における特別授業

年度小学校入学予定者に対する、就学時健康診断を保健福祉センターを会場に、当該児童及び保護者が出席し、学校医及び歯科医による検診、視力・聴力検査、並びに適性検査を実施いたしました。令和8年度は、南富良野小学校で9名、南富良野西小学校で1名の計10名の新入学児童を含め、総児童数は105名となります。予定であります。

■南富良野高等学校の事務事業等の取組について

9月27日「道の駅感謝祭」において、吹奏楽部とカヌー部が地域イベントへの参加協力を行いました。

吹奏楽部は、日頃の練習の成果を発揮してオープニング4曲を演奏し、来場者から温かな拍手をいただきました。また、カヌー部は、練習用機械を会場に持ち込み、子どもから大人までカヌーの漕ぎ方などを体験してもら



道の駅感謝祭「吹奏楽部」

い、競技の魅力や本校を知っていただく良い機会となりました。



11月25日、学校運営協議会及びPTA役員会の合同会議を開催する中で、初の試みとして生徒会役員が会議に参加し、自らが学校行事や運営などに対し提案するプレゼンテーションが行われました。

会議では、生徒が自分たちで作成した資料をもとに、学校祭の花火を継続的に実施するための資金調達方法として、ポスターに氏名を掲示するなどの特典を設け、町民の

皆さんに支援金を集う案や、学校祭を地域の皆さんに楽しんでいただくため、多数のキッチンカーへ出店を要請する案のほか、学校の魅力を生徒目線で発信する生徒会公式インスタグラムの開設等について提案がされ、出席した学校運営協議会やPTA役員の皆さんからは、貴重な意見やアドバイスをいただきました。

南富良野高等学校では、生徒会の意見が実現できるよう検討するとともに、今後もこうした機会を設け、生徒が自ら考え自己実現できる学校づくりを目指していきます。

進路状況につきまして、卒業予定者12名中、進学は8名でうち道内公立大に1名、道内私大3名、道外私大1名のほか、専門学校に2名が合格しております。また、就職は4名で、1名が道内民間会社に内定が決まって

おります。

また、10月3日から6日にかけて、滋賀県東近江市で開催されました第79回国民スポーツ大会では、北海道代表選手として本校カヌー部の9名が選出され出場いたしました。生徒は日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し、2年生の2名がペアで出場した少年女子K2の部500メートルで7位入賞、同じく200メートルでも8位入賞と、北海道代表の女子ペア選手としては、33年ぶりとなる輝かしい成績を収めました。カヌー部では、昨年度の国民スポーツ大会に引き続き2年連続となる全国大会での入賞となり、次年度においても好成績を収められるよう日々練習に励んでいるところでもあります。

遠方からの入学生受入れに対し、既存学生寮の敷地内に新たな学生寮として建設しております南

富良野高等学校学生寮増設工事については、本年7月に契約を締結し、現在、建物の基礎及び配管工事を進めており、来年3月中の完成を予定しております。なお、今回増設する学生寮は、各部屋にユニットバス、キッチン、洗面所等を整備したワンルームタイプであり、1階に8部屋、2階に8部屋の計16部屋のほか、各階には交流スペースとして談話室を設けた建物となっております。



固定資産評価審査委員に松井 正則氏が再任

12月21日をもって、固定資産評価審査委員として3年間の任期が満了となった松井正則氏が再任されました。

12月に行われた町議会定例会で選任に同意され、12月22日付けで辞令が交付されました。任命期間は、令和7年12月22日から令和10年12月21日までの3年間です。

入居者 募集中

【幾寅東団地】

●建築年

昭和 54 年建築 ※令和7年改修

●間取り：2LDK

●入居対象世帯：世帯用

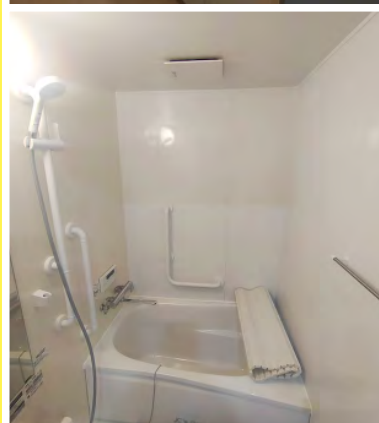
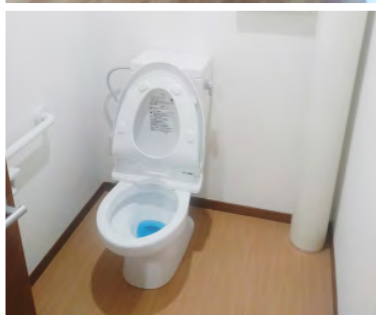
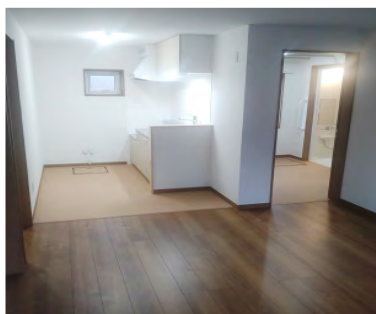
●入居時月額家賃

最低家賃：16,400円

最高家賃：24,400円

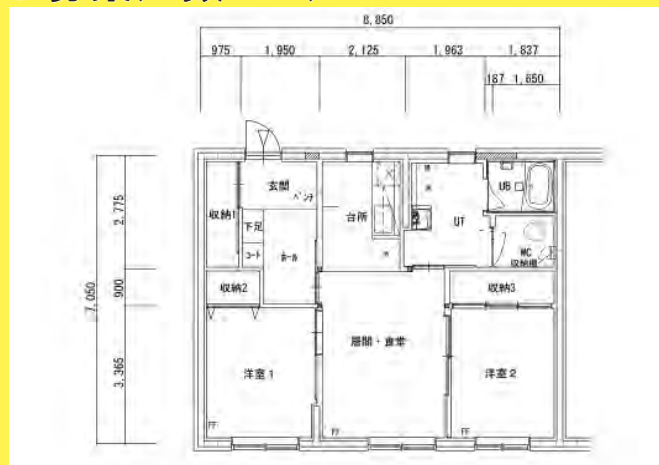
※入居後は翌年以降の収入状況で最高家賃より高くなる場合があります。

●募集戸数：1戸



申込み時に収入要件等がございますので、ご希望の方はお問い合わせください。

●問い合わせ先：建設課建築係 ☎ 52 - 2179



地域おこし協力隊活動記 25

本町では、7名の「地域おこし協力隊」が町の振興や発展のため活動しています。その活動内容や様子を町民の皆さんに紹介します。

はやさか たけひろ
早坂 武洋 隊員（地域にぎわい創出推進員）

こんにちは。南富良野町地域おこし協力隊の早坂武洋です。

南富良野町に移住して、結構な月日が経ちました。そんな去年の12月に毎年恒例の旭川市で開催されました物産展で、南富良野町の特産品をアピールしてきました。

この物産展は、毎年12月に道北エリアの道の駅や飲食店、小売店など50店舗ほどが出店しています。遠くは、東京都や愛媛県などからもブースを構える人気のイベント。そこで、南富良野町民溺愛の“南ふらのチップス”などを販売してきました。旭川でも、このチップスの人気は絶大。多くのお客様がリピーターのようで、「ここで買えるなんて・・・」という声を多く聞くことができました。

さらに、現地で人気だったのが、町内に店舗を構えるカフェのインスタントコーヒー。“チョコ”のような、“カカオ”のような風味があるこのコーヒーは、ブラックでも飲みやすく、個人的には、牛乳で割ると良い感じのコーヒー牛乳に仕上がって最近のお気に入りです。今回も南富良野町ブースは、多くのお客様から高い評価をいただきました。

まだまだ、南富良野町には、たくさんの魅力があると実感した物産展となりました。



ぜひで賞味ください

⚠️「気象の警報が大きく変わります」⚠️

気象庁では令和8年（2026年）5月下旬から、従来の気象警報・注意報などを改善し、新しい防災気象情報の運用を開始します。その目的は「誰でも避難の判断がしやすくなること」です。

今回の改善により、避難行動に対応した『警戒レベル（5段階）』に合わせて情報を整理し、情報名称にもレベルを明記します。大雨の場合では、警戒レベル4相当で「レベル4大雨危険警報」、警戒レベル3相当で「レベル3大雨警報」という名称となります。市町村から警戒レベル4の避難指示などが発令されたら、速やかに避難行動をとってください。また、避難指示等が発令されていなくても、警戒レベル4や警戒レベル3に相当する防災気象情報が気象台から発表された際には、河川の水位情報や気象庁の『キキクル』等を参考にして、自ら避難を判断してください。

詳細は『新たな防災気象情報』で検索してください。



▲新たな防災
気象情報

●問い合わせ先：旭川地方気象台 ☎ 0166 - 32 - 7102

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎ 52-2115）（FAX 52-2922）までお知らせください。

カメラレポート

CAMERA REPORT

共に暮らすために—多文化共生活動を開催 (12月19日)

町と富良野警察署は、国籍や文化の違いから慣れない環境で生活している外国人の方々への理解を深め、地域で共に暮らしていくための多文化共生活動を実施しました。

今回は、南富良野大乘会で勤務する外国人職員3名が参加。町職員からは、ごみの分別方法や、災害時の避難所などについて説明を行いました。また、富良野警察署員からは、在留カードの携帯義務や紛失時の対応、さらに安全に生活する上で重要な交通ルールについて説明が行われました。説明会終了後には、生活する上で知っておくべき場所として、金融機関や郵便局などの公共施設を訪問し、実際の場所を確認しながら理解を深めました。



はくちょうもちの鏡餅で新年スタート (12月26日)

南富良野町もち米部会（武田伸一 会長）から、今年も新年を祝う鏡餅が寄贈されました。

今回寄贈された鏡餅は、下金山地区で収穫されたもち米「はくちょうもち」を使用した二段重ねの大きな鏡餅です。仕事始めの日から役場庁舎の玄関入口に飾られ、訪れる町民の皆さんを明るく迎えていました。

町では、地域で生産された農産物を通して新年を祝うこの取り組みが、これからも地域の温かさを感じられる機会となることを願っています。



年末恒例「現金つかみ取りイベント」 (12月26日～27日)

なんぷニコニコカード会（小出直由 会長）は、年末恒例となった「現金つかみ取りイベント」を開催しました。初日となる26日の午前中は金山・落合地区、同日の午後と27日は幾寅地区で行われ、各会場とも多くの町民の皆さんでにぎわいました。

イベントは、満点になったなんぷニコニコカード1枚につき1回抽選くじを引ける仕組みで、1等では千円札の現金つかみ取りが行われました。そのほか、町振興公社の詰め合わせセットや豪華食品などの特賞も用意され、訪れた参加者を楽しませていました。

町民の皆さんが笑顔で楽しめる賑やかな2日間となりました。



凍てつく夜に灯る光の道―「アイスクャンドルナイト 2025」開催

(12月27日)

幾寅駅周辺をアイスクャンドルで幻想的に彩る「アイスクャンドルナイト 2025」が、南富良野まちづくり観光協会（岩永かずえ 理事長）主催のもと、南富良野アイスクャンドル愛好会や町内企業の協力により開催されました。

会場となった幾寅駅の正面やホーム、線路沿いには、手づくりのアイスクャンドルが並び、一つひとつに火が灯されると、冬の夜をやさしく照らす幻想的な光景が広がりました。当日は、小学生以下の子どもを対象に先着100名へお菓子がプレゼントされたほか、澄んだ夜空に花火が打ち上げられ、町内外から訪れた多くの来場者が、アイスクャンドルの温かな灯りと寒中花火の美しさを楽しんでいました。

花火の後には、お米が当たる歳末大抽選会も行われ、会場は笑顔に包まれました。冬の風物詩の本イベントは、今年も多くの方々に冬ならではの魅力を届ける催しとなりました。



滑って学んで冬を楽しむ!! 町民スキー教室 (1月10日・17日・24日)

町スキー連盟（西山雅明 会長）が主催する町民スキー教室が、南ふらのスキー場で3週にわたり開催されました。

参加者は、指導員から滑走姿勢やターンのコツ、安全なリフト乗降方法など、実践的なアドバイスを受けました。雪質の良いゲレンデの中で、指導員の声に耳を傾けながら繰り返し滑走する姿が見られ、皆さんが楽しみながら上達していく様子が印象的でした。

町民にとって冬の定番となっているスキー教室は、技術向上だけでなく、地域の交流の場としても親しまれています。



今年も元気に!! 子どもたちのどんど焼き (1月10日)

幾寅野球スポーツ少年団と南富良野スキースポーツ少年団が、正月恒例の「どんど焼き」を行いました。

団員や指導員、育成会員は幾寅地区の家庭を訪ね、しめ飾りやお札を集め、南富良野神社の境内で焼納し、一年の無病息災と心願成就を祈願しました。

地域の伝統を通して、子どもたちは新年への願いを込める貴重な機会となりました。



町の文化財や史跡について紹介します

第 26 回目は、「北海道食糧事務所南富良野出張所跡」です。

※第 25 回目「開基の碑」は令和 8 年 1 月号に掲載しています。

北海道食糧事務所南富良野村出張所戦時下の昭和 17 年 12 月に食糧管理法の公布により、米、麦の国営検査が実施され、供出、出荷の奨励に当たり、北海道農産物検査所は、北海道食糧検査所と改称、派出所と駐在所は出張所となった。

(中略)

48 年 9 月 1 日、36 年の農業基本法の制定及び農政改革による農産物の生産事情の変貌などにより、機構の改革が行われ、農林省北海道食糧事務所富良野支所南富良野分室となった。53 年 7 月 5 日、農林省が農林水産省と改称され、農林水産省北海道食糧事務所富良野支所南富良野分室となり、56 年 3 月 24 日、支所に吸収合併された。

北海道食糧事務所南富良野出張所跡の歴史は、町史に詳しく記載されています。下記の二次元コードからご覧ください。



◀ 町史（上巻）

※南富良野町ホームページ内サイト（生涯学習係）にて史跡情報を掲載しています。

公民館図書館から新刊のご紹介

『不可能を可能にする 大谷翔平 120 の思考』 大谷 翔平 著

今や北海道のみならず日本、そして世界から熱い注目を集める大谷の“二刀流”。当初は各評論家から『不可能』『非常識』と批判的な意見ばかりであった。しかし、周囲の想像を超えた驚愕の成長を遂げ、今では誰もが“二刀流”を賞賛するまでの実力を身に着けた。なぜ、『不可能』を『可能』となしえたのか？

その鍵は、大谷が培ってきた一流の思考にある。挫折と向き合い、自分を信じ、孤独を恐れず、謙虚であり続けること。そして夢を描き続けること・・・大谷語録を読めば大谷の成功の土台となった思考を知ることができる。



これまでの新刊やおすすめ本はこちらから→



南富高生が拓く地域の未来
「デジタルとアウトドアが

生み出す新しい可能性」

12月1日、南富良野高校体育館にて、総務省地域情報化アドバイザー・森戸裕一氏による第2回アウトドア講演会「これまでの仕事・これからの仕事 高校生が知っておくべき未来」が開催されました。生徒たちは、未来の働き方や地域に求められる人材像について理解を深めました。

森戸氏は、全国47都道府県で年間200回を超える講演や自治体支援を行い、デジタル化や地域変革に携わってきた実績を紹介しました。時代の変化が加速する中で、従来の「決められた仕事を正確にこなす力」だけ



ではなく、自ら課題を見つけ、仲間と協力して新たな価値を生み出す姿勢が重要であると強調しました。

特に、AIやデジタル技術の進展によって働き方が大きく変わりつつある現状を踏まえ、多様な地域での事例を紹介。オンライン活用や情報共有の仕組みづくりが地域活性化を支えている

ことを示し、生徒たちに向けて「自分の得意を活かせる場は必ずある」「デジタルを使えば地域からでも全国とつながれる」と語りかけました。さらに、学校設定科目「アウトドアⅠ・Ⅱ」で自然を通して育まれる「人間力」が、デジタル技術との相乗効果によって新たな可能性を広げることにも触れました。

最後に森戸氏は、「未来は予測



するものではなく、自らつくるものだ。興味を持ち、まずは一歩踏み出すことが大切だ。」とエールを送りました。生徒からは「将来の選択肢が広がった」、「南富良野から発信するイメージが具体的になった」といった声が寄せられ、有意義な学びの時間となりました。



しょうぼう広報ほのお



マイナ保険証とマイナ救急について

マイナ保険証ってなに？

マイナ保険証とは、健康保険証の利用登録がされたマイナンバーカードのことです。従来の健康保険証は令和7年12月1日をもって利用不可となりました。これまで健康保険証で行っていた医療機関・薬局での受付をマイナンバーカードで行うことが出来る他、初めて受診する医療機関でも過去の病歴や薬の処方歴を正確に伝えることができます。

○厚生労働省マイナンバーカードの健康保険証利用（マイナ保険証）について
(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_08277.html)



マイナ救急ってなに？

救急隊員が傷病者のマイナ保険証を活用し、医療情報等を閲覧する仕組みのことです。病歴、薬の処方歴、病院の受診歴が確認できるため救急隊員に説明する負担が減り、より適切な処置を受けることができます。

救急隊員が同意を得てからマイナ保険証の情報を確認しますので救急隊が到着するまでにマイナ保険証を準備してお待ちください。



マイナ救急の制度を利用するにはマイナ保険証の利用登録が必要です。
迅速な病院への搬送や適切な治療を受けるためにも
マイナ保険証の利用登録をお願いいたします！



◀総務省消防庁マイナ救急ページ
あなたの命を守るマイナ救急
(<https://www.mynakyukyu-demonstration.com/>)



南富良野支署出動件数（令和7年1月1日～令和7年12月31日）

- 救急出動 141件（うちドクターヘリ要請件数 10件）
- 火災出動 2件（うち他市町村応援出動 2件）
- 救助出動 3件

子育て支援センター「ぷっこ」だより

☎ 52-2315

～☆★明るく元気な子に育ちますように☆★～

子育て支援センター ☎ 090-5985-4339

南富良野町も厳しい冬、真ただ中。外に出るのがおっくうになりがちですが、お天気の
良い日は外に出て、太陽の光を浴びましょう。キラキラ光る雪、長く透明なつらら、新雪に
自分だけの足跡、楽しいことがいっぱいです。



☆ぷっこクラブ

月に3回のぷっこクラブは、親子体操から始
まります。背伸びやジャンプ、いち、に、さん!!



☆0歳ぷっこ

いつも遊びに来てくれる赤ちゃんたち。会うたび
にすくすく大きくなっています。



☆ぷっこクラブ (クリスマス会)

クッキングでロールサンドを作りました。イ
チゴをのせて、キャンドルに見えるかな。



☆ぷっこクラブ (クリスマス会)

サンタクロースが来て、プレゼントをもらいま
した。みんなニコニコうれしいね。

保 育 所 の 元 気 な 子 こ も た ち

幾寅保育所

クリスマス会がありました。子ども達は楽しみに
していたサンタさんに会うことが出来ました!! プレ
ゼントをもらうことができ、嬉しそうな表情をする
子もいれば、ちょっぴり緊張気味な子もいましたが、
とても楽しんでいました!! みんなで元気いっぱいに
歌や踊りを披露し、会場は大盛り上がりとなり笑顔
と笑い声があふれる素敵な時間でした。



金山保育所

今年の保育所の親子遠足はむかわ町の恐竜博物館
にバスに乗って行ってきました。天気も良く朝から
嬉しそうな子ども達。恐竜好きな子ども達は大きな
骨や歯を見て「こんなにおおきいの?」とびっくり
しながらも興味深々。どれくらい恐竜の名前を覚え
てこれたかな? 保育所での楽しい思い出がまた一つ
増えたと思います。みんなでハイ、チーズ!!



★町内会に加入しましょう★

町内会は、住民みんなで協力して地域をより快適で住みやすくするための活動をしています。お祭りやゴミステーションの清掃、防災活動、そして子どもたちや高齢者のサポートまで、暮らしのあらゆる場面で関わっています。

町内会に参加することで 温かい人間関係が築けたり、地域の課題をみんなで解決できます。

地域の絆をさらに深め、より良いまちづくりにつながります！ぜひ町内会に加わってみませんか？



問い合わせ先：企画課広報統計係 ☎ 52 - 2115

寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

南富良野町へ

○幾 寅 南富良野町建設様より町の振興に対する寄附として 二百万円

社会福祉協議会へ

○落 合 松原清市様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 二万円

○旭川市 佐藤壽子様より故佐藤清様生前のご厚志に対するお礼として 十万円

○幾 寅 南富良野町幾寅婦人会様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 一万円

○旭川市 株式会社測量様より社会福祉協議会の運営に活用する寄附として 五万円

○幾 寅 松田誠司様より故松田佑介様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

○幾 寅 富士孔志様より故富士金作様生前のご厚志に対するお礼として 五万円

一味園・からまつ園・ごきうら園へ

○下 金山 小 壽 子 様

○幾 寅 吉 田 美 津 子 様

○幾 寅 三 浦 正 利 子 様

○札幌市 特殊 衣 料 子 様

○札幌市 高 松 冴 子 様

○幾 寅 太 田 礼 子 様

○幾 寅 小 松 建 設 工 業 様

○富良野市 上 原 真 理 奈 様

○中 松 伊 藤 修 様

○ト マ ム 瀬 戸 文 郷 様

○浜 松 市 高 野 洋 一 様

○幾 寅 曾 慶 乙 公 様

○幾 寅 幾 寅 婦 人 会 様

○幾 寅 吉 岡 建 設 様

○富良野市 メガネのデ・アイ 様

○富良野市 株式会社コダマ 様

○富良野市 大北工業(株) 様

○東 川 町 H J K 様

○芽 室 町 辻 経 之 様

○旭川市 旭川大丸クアサービズ(株) 様

○旭川市 株式会社川島コーポレーション 様

○旭川市 株式会社キーププランニング 様

○旭川市 株式会社柴濱建築設計事務所 様

★お悔やみ申し上げます

幾 寅 谷 口 順 子 (75)
令和7年12月13日逝去

幾 寅 松 田 佑 介 (45)
令和7年12月16日逝去

幾 寅 小 田 桐 武 (86)
令和7年12月27日逝去

幾 寅 福 士 金 作 (94)
令和7年12月29日逝去

南 わたしたちのまち

(令和7年12月末日現在)

人 口 2, 160人 (△11)
男 1, 089人 (△9)
女 1, 071人 (△2)
世帯数 1, 268戸 (△6)
() 内は前月比

○帯 広 市 谷 口 哲 也 様
○札幌市 アカネシステム(株) 様
○神奈川 県 上 元 順 様
○札幌市 札幌ファミリー 様
○中富良野町 北 千 生 氣 (株) 様
○清水町 澤 山 進 様
○幕別町 坂 本 登 様
○美瑛町 窪 田 佳 代 様
○幕別町 土 田 勉 様